

## 1-6

# 経鼻栄養に対する家族の思い

～脳血管障害で経口摂取が困難になった患者家族の面接を通して～

○大饗 愛子（赤穂市民病院）

### I. はじめに

脳血管障害で倒れた患者は経口摂取が困難である場合が多いため、経鼻栄養が開始になる事が多い。経鼻栄養が開始になる前に医療従事者から家族へ説明が入るが、「ない」と答えられる家族が多いが、表情は何か言いたげな表情をしている。そこで、経鼻栄養が開始になる前の家族の思いを理解する事で今後についての不安や負担を軽減できる援助を行うための示唆を得る必要があると考えた。

### II. 研究方法

#### 1. データ収集方法：半構成的質問になる面接

調査内容；1)「口から食べられないという事に関して主治医からどのように聞いているか」2)「経鼻栄養が開始になると聞いた時の思い」3)「経鼻栄養が開始になる上で不安に思っていること、分からないことはないか」4)「経鼻栄養が始まる前に医療従事者に望むことはないか」を半構成的質問をし、ICレコーダーに録音し逐語録にまとめ、それぞれをコード化した。

2. 倫理的配慮；本研究は、文章を用いて研究目的、方法、個人情報の守秘や研究参加への自由意思、同意をしなくても不利益が無い事を論文集に掲載予定であることを説明し署名を得た。面接はプライバシーの保持できる病棟の個室で行なった。

### III. 結果

分析を行なった結果「説明を受けたときの理解」「経鼻栄養に対する受け入れ」「経鼻栄養への期待と驚き」「経鼻栄養を見たときの思い」の4つのカテゴリーに分類出来た。

1) 説明を受けたときの理解では〈聞いていない〉〈聞いたかどうか覚えていない〉〈家族に任せている〉〈医師から聞いた〉〈看護師から聞いた〉〈自分なりに納得している〉の6つのサブカテゴリーで構成された。

2) 経鼻栄養に対する受け入れでは、〈よくある治療法である〉〈経鼻栄養を知らなかった〉〈医療者へ任せている〉〈素人なので分からない〉〈食べれる状態ではないので仕方ない〉〈医師を信用している〉〈不安や心配はない〉の7つのサブカテゴリーで構成された。

3) 経鼻栄養への期待と驚きでは〈経鼻栄養が出来ることへの感謝〉〈栄養が取れることへの驚き〉〈経鼻栄養は体力回復への第一歩〉の3つのサブカテゴリーで構成された。

4) 経鼻栄養を見たときの思いでは〈ショック〉〈平気〉〈驚き〉の3つのサブカテゴリーで構成された。

### IV. 結論

家族は、経鼻栄養が開始に対して驚きやショックはあるが患者の回復への期待がある為、医療者は何度も家族が納得出来るまで理解しやすい言葉で説明する必要がある。

脳血管障害で倒れた患者は経口摂取が困難である場合が多いため、経鼻栄養が開始になる事が多い。経鼻栄養が開始になる前に医療従事者から家族へ説明が入るが、「ない」と答えられる家族が多いが、表情は何か言いたげな表情をしている。そこで、経鼻栄養が開始になる前の家族の思いを理解する事で今後についての不安や負担を軽減できる援助を行うための示唆を得る必要があると考えた。